

やとみ

議会だより

No.70

2023年
7月25日発行



弥富市港湾地域 更なる開発・発展を!

令和5年6月定例会概要

目次

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------|
| ● 6月定例会のあらまし…………… P2 | ● ズバリ聞きます!一般質問…………… P5~16 |
| ● 委員会レポート
議案等の賛否状況一覧…………… P3~4 | ● 視察報告…………… P17 |
| | ● おしらせ…………… P18 |

発行●弥富市議会 編集●議会広報編集特別委員会

〒498-8501 愛知県弥富市前ヶ須町南本田335番地 ☎(0567)65-1111 FAX(0567)67-4011

6月定例会のあらまし

6月定例会は、5月23日から6月23日までの32日間の会期で開催されました。

初日には、人事案件である農業委員会委員11名の任命を、全会一致で同意し、「令和5年度弥富市一般会計補正予算(第1号)」についても全会一致で可決しました。

また、「弥富市税条例の一部改正について」をはじめ5議案と、「インボイス制度の実施中止を求める意見書を政府に送付することを求める請願書」が提出されました。これらを所管の委員会に付託、審議し、5議案は原案どおり全て了承、請願は不採択としました。

最終日には、付託された議案、請願に対して、各常任委員長から経過と結果の報告がなされ、全ての議案を可決しました。請願は不採択としました。

また、追加議案として「工事請負契約の締結について」が提案され全会一致で可決しました。

本会議初日



議案質疑



弥富市税条例の一部改正

問 森林環境税の目的は、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から創設された。

答 森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から創設された。

問 他の用途に使えるのか。

答 森林環境譲与税として改めて譲与され、他の用途には使えない。

問 減免制度はあるのか。

答 被災により甚大な被害を受けた人、生活扶助を受けている人、失業者など法令に定められた人が免除対象。

本会議最終日



議案第20号 弥富市税条例の一部改正に対して

反対 那須英二議員

可決

佐藤仁志議員 **賛成**

この3年間で自治体に配られた金額は840億円で、全体の47%が使われていない。新たな課税ではなく、今ある財源から国が交付すればよい。

討論

弥富市の水環境は、上流の森林環境と一体であることを理解してもらい、市内行事に森林の産物の紹介など、上流と下流の交流事業を願う。



◆ 請願者：津島民主商工会
◆ 請願事項
制度が実施されれば免税事業者への新たな税負担や過酷な実務負担が始まる。制度の実施中止を求める意見書を政府に送付してほしい。

▶ 6月定例会最終日に出席者全員できんちゃんポロシャツを着用した議場風景

◆ 請願者：津島民主商工会
◆ 請願事項
制度が実施されれば免税事業者への新たな税負担や過酷な実務負担が始まる。制度の実施中止を求める意見書を政府に送付してほしい。

反対 三浦義光、堀岡敏喜議員

不採択 請願第1号に対して

佐藤仁志、那須英二議員 **賛成**

実施まで3か月余りで、事業者の対応も始まっている。

課税業者には経過措置、免税業者にも支援措置の適用があり、導入により正確で不当のない経理処理が行われ、必要な制度である。

討論

新たな事務負担と、経済負担が増えるのは暮らして経済に大きな影響がある。免税事業者が受け取る消費税は預り金ではなく役務の対価である。

総務建設委員会



総務建設委員会に付託された議案は1件。
6月15日に開催し、審査を行いました。

議案

◆議案第20号
「弥富市税条例の一部改正について」

問 本市に該当する場所はあるのか。

答 本市に森林環境譲与税を活用して直接整備する予定の箇所はない。

問 本市に譲与される金額は。

答 令和4年度に譲与された金額は464万4千円。

請願

◆請願第1号

「インボイス制度の実施中止を求める意見書を政府に送付することを求める請願書」

問 インボイスの申請が始まっているが、なぜこのタイミングの請願か。

答 秋からインボイスが始まるが、直前でも中止して

ほしいという請願者の思いがこのタイミングとなった。

問 この請願は、低所得の事業者に対する負担が増えることに対してか、働き方の柔軟性を広げる意味か。

答 売上年間1千万円以下の一人親方やフリーランスの人など弱者救済の請願。

問 この請願は延期か、中止を望むのか。

答 中止を望むもの。

問 補助金はあるか。

答 経済産業省のIT導入補助金、財務省からの持続化補助金などある。

所管質問

○JR・名鉄弥富駅自由通路について

問 維持経費が答えられない理由は。

答 施設の使用等が決まっていなかった。

問 市民に説明責任が果たされているか。

答 詳細設計が概ね決まったので、想定される維持管理費の概算を算出していき

○車新田地区整備事業について

問 洪水時に地区から排水できる容量は。

答 3年確率の場合、毎秒0・532m³、30年確率の場合、毎秒5・391m³。

問 地区で貯留する容量は。

答 38・476m³。

問 洪水調整池の面積は。

答 10・745m²。あくまでも現計画案を基に算出。

問 洪水調整池の事業費は。

答 決まっていない。

討論・採決

議案第20号に関して反対討論がありました。原案を了承、請願に関しては不採択としました。

厚生文教委員会



厚生文教委員会に付託された議案は1件。
6月16日に開催し、審査を行いました。

議案

◆議案第21号

「弥富市国民健康保険税条例の一部改正について」

問 最高税額、2割軽減、5割軽減の該当者数の変更は。

答 課税限度額該当者数は427人から337人。2割軽減該当者数は992人から1024人。5割軽減該当者数は1023人から1047人。

問 税率改正しても、制度自体に無理が生じていることに変わりないのでは。

答 高所得層の負担を上げることによって、中間所得層の負担軽減を図る。

問 国、県、被保険者の負担割合は。

答 5割軽減、2割軽減の増加分の補填負担割合は、愛知県4分の3、弥富市4分の1。

所管質問

問 6月から社会実験運行がスタートした乗合送迎バス「チョイソコやとみ」の5月末現在の会員登録者数は。

答 大藤地区188人、栄南地区171人、地区外17人、合計376人。

問 現状における市の見解と課題は。

答 立ち上がり段階としては、順調に会員数を確保できていると考える。しかし、目標値500人は未達成であるため、周知機会を確保し、加入促進などを実施。乗車促進策として、チョイソコ通信での無料券配布。

問 新規観光事業の立案は。事業計画等に関する会議は実施していない。特産品の金魚を活用し、リピーターを増やすことに重点を置いた事業を実施。

問 ミス弥富、ミス弥富金魚に変わる本市のPR大使は。

答 観光協会が実施するイベント等に参加し、市の魅力などをPRする弥富市観光協会広報隊。

問 終末期の若年がん患者への在宅医療支援は。

答 県内で現在、8つの自治体が助成。近隣自治体の状況をみながら調査していく。

問 小学校再編となる対象4校の保護者、地域住民等への説明状況は。

答 4月17日から順に対象地域の保育所役員、小学校PTA役員、区長会、自治会との意見交換会を開催。今後7月15日から8月5日までの間に地域説明会を計6回予定。

討論・採決

付託された議案は全て原案を了承しました。



▲チョイソコやとみ

委員会レポート

予算決算委員会



予算決算委員会に付託された議案は3件。
6月19日に開催し、審査を行いました。

議案

◆議案第22号

〔令和5年度弥富市一般会計補正予算(第2号)〕

問 国からの給付金、水道料金免除以外支援を受けていない市民に対して5千円程度の支援はできないか。

答 現時点では、国からの交付金を効果的かつ合理的に、生活者等へ直接的に及び支援に活用していきたい。

問 交通安全啓発事業としてのヘルメット購入補助金に変更はないか。

答 補助金額の変更はなく、自転車を利用する児童生徒等及び高齢者が着用する新品のヘルメット購入に要する経費に2分の1を乗じた額を、2千円を上限とし補助している。

問 防犯設備管理事業として、県は防犯予算を増額すると新聞報道されていたがその内容は。

付託された議案は全て原案を了承しました。

討論・採決



▲弥富市内の防犯カメラ

答 高齢者の特殊詐欺被害の未然防止を図るため、65歳以上の高齢者が特殊詐欺対策機器等を購入する際、対象機器購入金額の2分の1で上限は6千円。
〔あいち地域安全戦略2026(仮称)〕の中で、新規事業として「自主防犯活動促進事業補助金」は、市町村が実施する防犯カメラ、特殊詐欺対策機器などの防犯対策設備・機器の購入・設置補助制度に対し補助を実施。

6月定例会 議案等の賛否状況一覧 (5月23日議決)

議案番号	議案名	議決結果	会 派 名														
			やとみ志政会	公明党	日本共産党	無党派	無党派	無党派	無党派	無党派	無党派	無党派	無党派	無党派			
			加藤克之	鈴木みどり	高橋八重典	堀岡敏喜	小久保照枝	那須英二	板倉克典	大原功	佐藤高清	三浦義光	平野広行	早川公二	江崎貴大	佐藤仁志	加藤明由
市長提出議案																	
同意第1号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	○
同意第2号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	○
同意第3号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	○
同意第4号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	○
同意第5号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	○
同意第6号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	○
同意第7号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	○
同意第8号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	○
同意第9号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	○
同意第10号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	○
同意第11号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	○
議案第19号	令和5年度弥富市一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	○

6月定例会 議案等の賛否状況一覧 (6月23日議決)

市長提出議案																	
議案第20号	弥富市税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	×	×	○	○	-	○	○	○	○	○
議案第21号	弥富市国民健康保険税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案第22号	令和5年度弥富市一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案第23号	令和5年度弥富市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案第24号	令和5年度弥富市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案第25号	工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
請願																	
請願第1号	インボイス制度の実施中止を求める意見書を政府に送付することを求める請願書	不採択	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	-	×	×	○	×

賛否状況 ○：賛成 ×：反対 △：採決時出席 -：議長は採決に加わらない 欠：欠席



ズバリ聞きます!!

一般質問

二次元コードを読み取っていただくと、各議員の一般質問が直接ご覧いただけます。ぜひご覧ください。

|| 市政を問う 11 議員が登壇

一般質問は、議員が市政全般に関して、執行機関にその執行状況や将来の方針、住民生活に密接に係わる事項などについて質問をすることをいいます。

議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。

一般質問事項

議員名	件名	頁	議員名	件名	頁
板倉克典	①エコプランの民間への啓発は ②行政施設CO ₂ 削減目標達成は	6	高橋八重典	①ヘルメット着用No.1をめざせ ②高齢者運転免許更新の危機対応は	12
江崎貴大	①デジタル化推進に向けて ②生涯学習の体系的な取組を	7	鈴木みどり	①防災訓練のあり方は ②白鳥コミュニティセンターの管理は	13
三浦義光	①新しい農業の形態とは ②今後の小中学校長寿命化工事は	8	堀岡敏喜	①アフターコロナ、市の取組は ②ヤングケアラー支援、周知啓発を	14
佐藤高清	①文化を育む人づくりとは ②都市基盤が整ったまちとは	9	佐藤仁志	①子ども中心のまちづくりを ②予算案に市民意見の導入を	15
小久保照枝	①地域猫の取組を ②障がい者移動支援・情報支援を	10	加藤明由	①既に始まった無駄なJR駅事業は ②水路に投棄された26台分の土砂は	16
那須英二	①物価高騰から市民を守る対策を ②保育料や育休退所の改善を	11			

問 エコプランの民間への啓発は

答 市民全体に意義を啓発している



板倉 克典 議員 日本共産党弥富市議団

○やとみ・エコオフィスプラン2030について以下を問う。

問 グリーン購入法に基づいた環境商品の目安は。

答〔環境課長〕 エコマークが付いている商品がグリーン購入法に適合している。

問 グリーン購入法に基づいて調達した商品を把握しているか。

答 58種類の消耗品は一括して単価契約を結んでいる。購入は各部署単位で行っているため、実績は各部署で把握している。

問 環境商品調達の方針は職員に浸透しているか。

答 職員一人ひとりが意識して取り組むよう、周知している。

問 政府が進める運動「クールチョイス」（賢い

選択）と、どう連動しているか。

答 共通の目標に向かう取組であり、低炭素で災害に強い「やとみエコオフィス」を実現できるように進めている。

問 市内民間業者への啓発活動は。

答 市民全体に向けてホームページ等で温室効果ガス削減の意義を啓発している。



問 行政施設CO₂削減目標達成は

答 市民と共に取り組んでいく

問 日の出小学校、弥富中学校は、児童生徒数の割合以上にCO₂排出量が多いが、なぜか。

答〔学校教育課長〕 規模が大きいため、消費電力は他校に比べ多くなっている。照明のLED化を進めている。

問 平成25年を基準に、令和12年にCO₂を40%削減目標であるが、令和6年の中間目標CO₂の20%削減は達成できるか。

答 本庁舎に計画はないが、他施設の日照環境によつては設置している。

問 太陽光発電の導入と活用の状況は。

答 白鳥保育所や日の出小学校などで、太陽光発電設備を設置している。



▲グリーンカーテン

答〔環境課長〕 順調に進んでいる。

問 植物で直射日光を遮るグリーンカーテンの計画は。

答 取得を目指す、「エコオフィスプラン」の取組を推進していく。

問 市が掲げるCO₂削減目標の達成に向けた決意は。

答〔副市長〕 施設の再配置を進め、再生可能エネルギーの活用に配慮し市民と共に取り組む。



▲市庁舎 太陽光パネル



江崎 貴大 議員
無会派

問 デジタル化推進に向けて

答 人にやさしいデジタル化の推進

問 デジタル化に向け主要な課題は。

答 (総務課長) デジタル化推進に必要な能力、スキル、経験を有する人材の確保、育成。

問 高齢者やデジタルリテラシーが低い人への配慮は。

答 スマートフォン等の操作に不慣れな人への必要な支援。

問 予算やリソースの配分の考え方は。

答 費用対効果や市役所全体のバランスを考慮。

問 生成AIの活用に対して本市の考え方は。

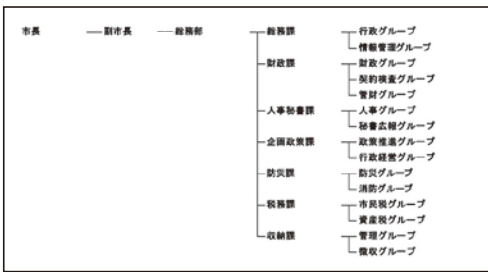
答 メリット、デメリットを研究し総合的に判断。

問 デジタル化の推進はこの部署が先導しているのか。

答 総務課。

問 専門とする担当課の必要性は。今後の方針は。

答 必要性は感じている。専門担当課の新設、既存体制の強化に取り組む。



▲弥富市の行政組織図 (総務部抜粋)

問 精通した外部人材の登用は。

答 体制が整った段階で考える。

問 行政改革における市役所のペーパーレス化への考え方は、今後の取組状況は。

答 行政運営の効率化を図るため、ペーパーレス化に取り組む。

問 将来的なビジョンは。

答 (市長) AIを使った技術の活用にも取り組み、市民の利便性の向上や業務の効率化を着実に進める。

問 部活動の地域移行で、文化部の進め方の考えは。

答 (教育部長) 市内の文化・芸術団体等と協議を進める。

問 文化協会加盟団体内、子どもを対象とする団体は。

答 令和4年度、2団体。

問 加盟状況をどのように捉えているか。

答 若い世代の入会が少ない状況。

問 団体紹介のウェブ環境は整っているか。

答 市ホームページに「生涯学習やとみ」を掲載し、その中で団体名と連絡先を紹介。

問 広報やとみ等での周知は。

答 文化協会と協議し対応する。

問 生涯学習の体系的な取組を

答 生涯学習推進計画策定を進める



▲総合社会教育センター

問 発表会等の機会により多くの市民に活動内容を知ってもらう工夫は。

答 市ホームページや社会教育施設での掲示に加え、他施設にも掲示協力をお願いしている。

問 生涯学習に関して、地域のニーズや要望を反映させる仕組みは。

答 満足度を高めるためニーズを把握し充実に努める。

問 愛知県内の生涯学習に資する計画の策定状況は。

答 令和4年度、49市町村が策定済み。5市町村が未策定。

問 生涯学習推進計画を策定する考えは。

答 生涯学習推進計画策定に向け進めていく。

問 新しい農業の形態とは

答 6次産業化を推進する農家に



三浦 義光 議員 無党派

○世界的な価格競争へ対応していきける6次産業化について以下を問う。

問 市内の6次産業の認定農家は。

答 (建設部長) 認定2件。

問 農山漁村振興交付認定に必要な書類は。

答 事業者の定款、直近3か年分の決算報告書、総合事業計画の写し、整備する施設に係る見積書など。

問 個人での認定交付は難しいのか。

答 個人では難しい事業。

問 5年後の農山漁村発イノベーション成果目標は可能か。

答 15名以上の新規雇用者の目標を計上している。

○新規参入農家を創出する策について以下を問う。

問 本市新規就業状況は。

答 個人1件、法人1件の相談を受けているが新規就業には至っていない。

問 国の就農者育成総合対策支援の問い合わせは。

答 平成26年12月から4年6か月の間、給付金を受けた経緯がある。

問 海部管内、新規就業支援事業実施状況を見て本市の対応を、6次産業化と合わせて市長に問う。

答 (市長) 6次産業化を推進する農家を増やし、付加価値を生み出すなど農業の可能性を広げていく。



▲愛知県HPより

問 今後の小中学校長寿命化工事は

答 白鳥小学校は令和7年度から

○今後の小中学校の長寿命化改良工事について以下を問う。

問 弥富北中学校の今年度予算説明額とホームページ上の「やとみのよさん」との金額の違いは。

答 (教育部長) 「やとみのよさん」には、管理委託費738万7千円を併せて計上している。

問 工事内容は金額順に説明したか。

答 外装関係、内装関係で分けて説明した。

問 国からの補助額、本市の負担額は。

答 工事費と設計監理委託料、調査費の合計額の3分の1の金額と、その1%の事務費を加えた額が補助額となり、残りの額が市の負担となる。

問 白鳥小学校の改良工事は令和7年度からか。

答 現時点では変更はない。

問 市内小中学校の洋式トイレ率は。

答 66・2%。

問 白鳥小の長寿命化によるトイレ改修は。

答 1基を和式トイレとし、残り全てを洋式トイレに改修していく。

問 トイレ床の乾式化を望むが。

答 今後も乾式化にしていきたい。

問 市長総括を。

答 (市長) トイレ環境の整備工事は長寿命化改良工事の中で行っていく。



▲白鳥小学校洋式トイレ



佐藤 高清 議員
無会派

問 文化を育む人づくりとは

答 連携を図り魅力を発信していく

○第2次弥富市総合計画「基本目標3・心豊かで文化を育む人づくり」について以下を問う。

問 文化活動についての課題は。

答 (市長) コロナ禍等の影響により失ったものは大きく、今後は文化協会と連携を図り魅力の発信に努める。

問 具体的に「いつでも、どこでも、だれでも」スポーツを楽しむ機会とは。

答 本市の特徴的な取組として、なぎなた競技の振興がある。秋には「スポーツフェスタ」を開催し、「スポーツ能力測定会」を実施し、子どもたちの夢の育成を進める。

問 生涯にわたり、心身共に健康で文化的な生活を営む土壌を整える具体策は。

答 「夏季巡回ラジ体操」を、7月30日(日)に実施し推進に努める。

問 コロナ禍により伝統文化継承の中断が余儀なくされてきたが、本年度の無形文化財伝承活動の支援と

は。

答 本年度より、無形文化財伝承活動奨励補助金を、1地区あたり8万円に増額。



▲森津保存会による神楽太鼓

○「基本目標5・良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち」について以下を問う。

問 名古屋第3環状線の進捗は。

答 (市長) 昨年度比約2倍の2億8900万円の予算がついている。

問 主要地方道、弥富名古屋線の進捗は。

答 弥富名古屋線は、今年度中に供用開始。

問 湾岸地域などの整備促進において、その背後地の先行投資の考えは。

答 広域的な物流や新規企業立地を推進するために、必要な時期に、必要な予算を確保。

問 弥富駅周辺、車新田地区のまちづくりの進捗は。

答 弥富駅周辺地区では、弥富駅中央駅前広場や、都市計画道路を中心とした整備構想案を検討。

車新田地区では、発起人会を中心に、土地区画整理事業の検討を進める民間事業者を募集。

問 都市基盤が整ったまちとは

答 必要な時期に必要な予算を確保



▲工事中的の名古屋第3環状線(境・中原地区)

問 地域猫の取組を

答 責任ある飼養へ普及啓発を行う



小久保 照枝 議員 公明党

○地域猫活動について以下を問う。

問 本市に活動団体はあるか。

答 環境課長 把握していない。

問 具体的な取組は。

答 地域に住み着く所有者のいない猫に、去勢・避妊手術、適切な管理を行い、将来的に飼い主のいない猫をなくす。

問 本市においてボランティア登録が必要では。

答 登録は必要と考える。

問 活動団体に、去勢・避妊手術の助成が出来ないか。

答 「どうぶつ基金」の行政の活用につなげることを検討。

問 公益財団法人「どうぶつ基金」とは。

○犬猫の不妊手術奨励事業や動物愛護思想の普及啓発事業を行っている。

答 動物愛護条例とは。

答 動物愛護条例とは。

問 動物愛護条例とは。

答 動物の愛護及び管理に関する事項を定める。

問 学校教育の取組は。

答 学校教育課長 生活科の授業で動物病院の先生を講師に招き、小動物と触れ合うことを通して命の尊さと動物愛護を学んでいる。

問 市長の見解は。

答 市長 飼い主がルールを守り、責任をもって飼養することが重要で、引き続き普及啓発が必要。

○犬猫の不妊手術奨励事業や動物愛護思想の普及啓発事業を行っている。



問 障がい者移動支援・情報支援を

答 利便性の向上周知に努める

問 障がい者移動支援の利便性は。

答 健康福祉部長 令和3年度9人。令和4年度11人。

問 必要としている人数は。

答 手続きした人は、令和3年度末時点で50人、令和4年度末時点で43人。

問 「移動支援や」相談体制についての意見が多く寄せられているが、本市の対応は。

答 福祉タクシー料金助成利用券が利用可能な事業者を増やし、利便性向上に努めている。

問 相談体制の充実も図っている。

答 「障害者情報アクセスナビリティ・コミュニケーション」推進法への取組は。

問 今年度策定の弥富市障がい者計画等で、同法の趣旨を踏まえた施策を掲げ

答 今年度策定の弥富市障がい者計画等で、同法の趣旨を踏まえた施策を掲げ

問 デジタル障害者手帳ミ

答 手帳の新規交付時や更新時に、チラシの配布を行う。

問 手帳申請時に周知しては。

答 手帳の新規交付時や更新時に、チラシの配布を行う。



▲ミライロID

答 周知に努める。

問 きんちゃんバスの運賃支払い時に適用。

答 手帳の新規交付時や更新時に、チラシの配布を行う。

問 市長総括を。

答 市長 あらゆる分野の活動に参加するため、必要不可欠なツールの一つと考える。誰もが暮らしやすく優しさを持って繋がるまちづくりを目指す。

問 デジタル障害者手帳ミ

答 手帳の新規交付時や更新時に、チラシの配布を行う。

問 デジタル障害者手帳ミ

答 手帳の新規交付時や更新時に、チラシの配布を行う。



那須 英二 議員

日本共産党弥富市議団

問 物価高騰から市民を守る対策を

答 補助制度を最大限に活用

問 物価対策の対策メニューはどのように検討したか。

答 (企画政策課長) 国より推奨事業メニューなどが提示され、その範囲内で事業を検討した。

問 国の対策費は。

答 低所得世帯支援枠に5千億円、推奨事業メニューに7千億円、計1兆2千億円。

問 給食費を無償化しては。

答 (教育部長) 自校方式を維持し、安心安全で美味しい学校給食を維持するために、食材費については引き続き保護者をお願いしたい。

問 水道料の基本料金無料化は、4か月だけではなく年度末まで行っているか。

答 (市民生活部長) 交付金の配分があり、それに合わせて色々な事業も考え4か月とした。

問 高騰する電気代に対して補助を行うのはどうか。

答 (企画政策課長) その時々状況を踏まえ、適切に判断していく。

問 物価対策の拡充について市長の考えを。

答 (市長) 今、必要な支援について検討し、補助制度を最大限に活用するよう取り組み、長期的に持続可能な市政運営をしていく。



問 3歳未満児の保育料を引き下げていくべきでは。

答 (健康福祉部長) 県内自治体の平均より低く抑えているので、今のところ引き下げは考えていない。

問 育休退所を解消することとは検討しているか。

答 保育士確保がまず対応が難しい。

問 どこに課題があるのか。

答 保育士の増員が絶対条件。

問 保育士の確保はできているか。

答 正規は大学訪問等を行い徐々に効果が現れているが、非正規は現時点で応募や紹介がほとんどない状況。

問 保育士の推移は。

答 令和元年度は正規107人、非正規147人。令和5年度は正規98人、非正規136人。

問 保育所の定員と実際の定員は。

答 認可定員は1440人。利用定員は1200人。

問 現在の利用人数は。

答 929人。

問 子育て環境に対する市長の思いは。

答 (市長) 民営化などにより、保育士の数を確保し、土曜午後保育や育休退所の解消に向け、退所基準を見直していきたい。



【その他の質問】
「補聴器購入の補助を」

問 ヘルメット着用No.1をめざせ

答 まずは職員が模範を示していく



高橋 八重典 議員 やとみ志政会

問 ヘルメット着用努力義務化に対して効果的な対策は。

答 (市民協働課長) 市内小中学校とヘルメット取扱店に補助金制度のチラシ配布を実施。

問 ヘルメット着用率No.1を目指すべきでは。

答 (市長) 市職員が模範を示し、ヘルメット着用の徹底を図る。

問 自転車は軽車両である認識がまちまちな現状認識は。

答 (市民協働課長) 自転車に係る交通安全教育が普及していないため、警察などの関係機関と連携した自転車安全教育が必要。

問 モラルが低下している自転車の取締強化をすべきでは。

答 (市長) まずは、安全な通行のルールやマナーの意識向上から対策を講じる必要がある。

問 義務教育期間中に徹底教育すべきでは。

答 (教育長) 卒業後も交通安全マナーを継続してほしい。

問 自転車運転に関する道路交通法改正に伴う周知啓発、教育及び取締りを含めた見解は。

答 (市長) 自転車の交通ルール徹底のため、教育と指導の在り方を警察と意見交換や情報共有化を図り、連携を密に効果的な周知啓発活動等に努める。

愛知県内自転車乗車の危険意識調査結果
(2018年～2022年、回答数128人)



▲運転免許証更新手続の流れ

問 高齢者運転免許更新の危機対応は

答 自分自身に起こる現実を周知

問 今改正の内容の認識は。

答 (市民生活部長) 高齢ドライバーの運転基準が厳格化された認識。

問 運転技能検査の新設をどう捉えているか。

答 認知機能だけでなく、加齢による運転技能低下に着目した対策と認識。

問 運転技能検査により更新できなかった相談はあるか。

答 (市民協働課長) 相談はない。

問 今後、どのようなアドバイスをするか。

答 きんちゃんバス無料パスカード、タクシー料助成制度を案内する。

問 サポートカー限定免許新制度の周知は。

答 警察など関係機関と意見交換などで、連携できる部分があれば協力していく。

問 本市の、運転免許自主返納がしやすい最新体制は。

答 (市民生活部長) 自主返納後、代替手段となる公共交通機関の再編。

問 運転免許自主返納しやすい環境づくりとは。

答 (市長) 免許証を返納しても生活に支障がないよう、移動しやすい環境づくりが重要で、本市に適した公共交通となるよう再編を進める。



鈴木 みどり 議員
やとみ志政会

問 防災訓練のあり方は

答 自助・共助の醸成と公助の連携

問 防災に対する取組は。

答 (防災課長) 自主防災活動や資機材整備等に対し、自主防災組織補助金による補助の実施。

啓発活動は、防災ワークショップ、出前講座の実施など。

訓練は、**※リエゾン連携訓練**、広域避難訓練の実施など。

問 市が主催の防災訓練は。

答 考えていない。

問 防災運動会を開催しては。

答 コミュニティ推進協議会主催の防災訓練メニューに盛り込んだ形は有意義。

問 市民への防災意識を高める訓練は。

答 子ども達の防災学習として、防災キャンプの実施や、市民全体には、防災ワークショップや出前講座を活用。



※リエゾン連携訓練

市災害対策本部と、外部の各種災害対応機関の現地情報連絡員との連携強化を目的。

問 愛知学院大学との協定で、市民への周知と訓練は。

答 周知は、市ホームページ、防災ワークショップ、出前講座等。

訓練は、事前避難対象地域の自主防災会、自治会や防災関係団体等が参加。

問 市長総括を。

答 (市長) 地域防災力の強化が被害を最小限に抑える第一歩で、各コミュニティ全体の活性化と、年齢に応じた防災教育が必要。

問 白鳥コミュニティセンターの管理は

答 日常管理・修繕は計画的に実施

問 運動会で使われていた道具等は今後どうするか。

答 (市民生活部長) 白鳥小学校区コミュニティ推進協議会の備品なので、同協議会にて協議を。

問 多目的ホールの雨漏りの原因究明が必要では。

答 (生涯学習課長) 本年度、特定天井撤去設計の際に原因を特定し修繕する。

問 定期的な、備品点検しているのか。

答 遊具は、定期点検年1回、日常保守点検年3回実施。

施設は、通常点検は職員が実施、建築設備定期検査は毎年、建築物定期調査は専門業者が3年毎に実施。



問 修繕申請が出た場合の処理は。

答 状況確認後、優先順位を付け修繕。

問 市長総括を。

答 (市長) 日常的な管理や大規模修繕は、計画的に実施し安全安心に施設利用ができるよう取り組んでいる。

問 アフターコロナ、市の取組は

答 安全・安心な街へ



堀岡 敏喜 議員 公明党

○感染症法上の分類が「5類」に移行、ウイズコロナ、アフターコロナの新局面に入った。今後の市の取組について以下を問う。

問 市ホームページのコロナ特設サイトの刷新は。

答 **健康福祉部長** 広報担当と不要なものを順次精査し整理している。

問 今後の感染予防対策、ワクチン接種のスケジュールは。

答 5月8日から65歳以上の高齢者と、基礎疾患を有する人、また医療従事者等を対象とし、ワクチン接種を開始。9月以降は、秋開始接種として、5歳以上を対象に接種を開始。



▲新型コロナウイルス感染症の療養終了後も続く症状（いわゆる後遺症）について



問 後遺症に悩まれている人の相談窓口設置は。

答 相談窓口は特に設置していない。

問 5月以降も継続して利用できる、企業、事業者向けの支援等の情報発信は。

答 最新の情報を積極的に発信していく。

問 アフターコロナへの移行に際して、市長の考えは。

答 **市長** 新たな一歩として、「楽しい」を前面に打ち出した事業を展開していきたい。

問	ヤングケアラー支援、周知啓発を
答	ホームページを作成し周知啓発

○国は支援体制を強化するため、2022年度から3年間を集中取組期間と定めている。市の対応について以下を問う。

問 県発行の啓発パンフレットは市内の小中高等学校に配布されているのか。

答 **教育部長** 小学5・6年生と全中高生に配布している。

問 相談窓口は児童課が行うのか。

答 **健康福祉部長** 児童課が中心となり、全庁的に取り組んでいる。

問 職員、関係機関への研修の現状は。

答 県などが主催する研修会等に参加。

問 今後の課題は。

答 実態調査で掴めない、声をあげられない子どもをどの様に把握し支援に繋げるかが課題。

問 市としても実態調査をすべきでは。

答 実態把握に努めていく。

問 ケアラー支援条例の制定について、市の見解は。

答 県の条例制定に係る動向を注視しながら、調査・研究をしていく。

問 社会的認知度を高めるため、周知啓発に注力すべきでは。

答 ホームページを作成し周知啓発していく。

問 市長の見解は。

答 **市長** 地域が一体となつて、ヤングケアラーの早期の実態把握と適切な支援に取り組んでいく。



▲こども家庭庁：ヤングケアラー特設ページ



佐藤 仁志 議員
無会派

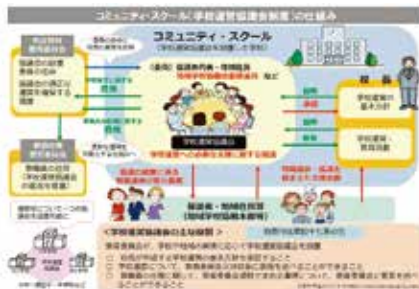
問 子ども中心のまちづくりを

答 地域と交流がある教育活動

- 問** コミュニティスクール構想は。
- 答** 教育部長 制度導入は検討していない。
- 問** 小規模校の今までの繋がりと今後は。
- 答** 地域コミュニティとの繋がりを大切にし、地域との交流がある教育活動を実践。
- 問** 統廃合後、地域と学校の関係性を再構築する担当は。
- 答** 学校教育課。
- 問** 生涯学習計画の策定は。
- 答** 教育部長 生涯学習推進計画策定に向けて進める。
- 問** 地域へ出向き市長自ら意見を聞くことは。
- 答** 市長 本市の行事やコミュニティ行事に参加し情報発信をしていく。
- 問** 地域ごとの話し合いの場を行政が用意することは。
- 答** 市民生活部長 コミュニティ推進協議会がその場である。
- 問** 地域で積み上げていく予算が必要では。
- 答** 「地域課題解決型コミュニティ」の推進を目指し、市民向け研修会を開催。
- 問** 現在のコミュニティ推進協議会の事務局員と予算の活用は。
- 答** 地域の実情や特性に合った使途や配分を決められるよう見直す。
- 問** コミュニティ推進協議会の見直し・強化をし、地域担当職員をつけては。
- 答** 地域住民自らが、自発的・主体的なコミュニティ活動に発展できるように、市職員が事務局としてサポートしている。

問 予算案に市民意見の導入を

答 議会と調整の上検討



▲文部科学省のHPから



▲愛知県HPから

- 問** JR・名鉄弥富駅橋上化の実施設計図、積算内訳の公表は。
- 答** 建設部長 工事施工業者が決定次第、図面等を示し、工事概要を説明。
- 問** 将来負担額の公表は。
- 答** 現時点では公表できないが、今後想定される維持管理費の概算を算出していく。
- 問** 当初予算案の公表は。
- 答** 財政課長 議会と調整の上、公表時期等を検討。
- 問** 住民ときちんと向き合える職員を育てる人事異動は。
- 答** 市長 どの部署での業務にも対応できるよう、効果的な人事管理に努める。
- 問** 安藤市政4年間の人事行政における成果は。
- 答** 成果が表れるには大変時間を要すると考える。
- 問** 安藤市政の人事行政における今後の方向性は。
- 答** 適材適所の職員配置を推進し、職員の意識改革と組織の活性化を目指す。

問 既に始まった無駄なJR駅事業は

答 まちづくりは行政の責務



加藤 明由 議員 無会派



▲杭撤去

問	水路に投棄された26台分の土砂は
答	工事続行を可能にし成果を得た

○JR弥富駅北口広場の基礎杭撤去について以下を問う。

問 地方自治法・地方財政法は遵守されているか。

答 (都市整備課長) 今後を判断し、問題ない。

問 旧庁舎の杭の総数は。

答 (建設部長) 612本。

問 駅北口広場もハツリ撤去が相当であったと考えるが。

答 (都市整備課長) 解体後の工事への影響を検討し、全て撤去。

問 JAあいち海部に支払った全撤去補償費と、ハツリ撤去費とどちらが安価か。

答 比較検討は行っていない。

問 杭撤去について十分な協議検討を行ったのか。

答 十分検討し、総合的に判断。

問 JR名鉄弥富駅自由通路橋上駅舎化事業で、膨大な税金が投入されるが市長の考えは。

答 (市長) 駅周辺のまちづくりに取り組むことは、行政の責務。

問 水路に2トンダンプ26台分の土砂を投入した理由は。

答 (産業振興課長) 底張りコンクリート下部の水道を止め、工事続行を可能にした。

問 土砂投入は誰の許可を得たのか。

答 孫宝排水土地改良区に承諾を得た。

問 一般市民が河川に土砂を投棄すれば違法行為であるが、市が行つと許される理由は。

答 法令違反ではなく問題ない。

問 副市長が積極的に関与したが、問題がないと考えるのか。

答 問題ない。

問 水の流れを阻害する行為は法令違反との認識は。

答 阻害されていない。

問 水門工事に要した総工費、当初予算予算及び追加工事費用の総額は。

答 総額、約3560万円。予定額、約3300万円。追加額、約260万円。

問 投棄した土砂は、いつ撤去するのか。

答 宝川流入部に敷きならしを行い、撤去の予定はない。

問 総括を。

答 (副市長) 水路を阻害するものではなく、浸水被害の解消、農業の水利用に大事な水門。重要な工事であり、必要な成果が得られた。

問 総括を。

答 (副市長) 水路を阻害するものではなく、浸水被害の解消、農業の水利用に大事な水門。重要な工事であり、必要な成果が得られた。



▲水路への土砂投入



▲水路清掃の様子

【その他の質問】
「公開討論会と選挙戦略を考える」

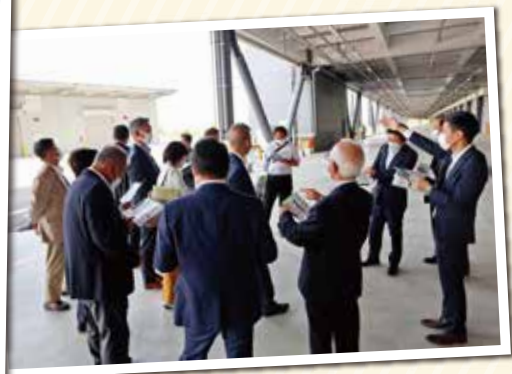
名古屋港湾等の視察

令和5年5月10日、弥富市議会として名古屋港湾等の視察を行いました。

名古屋港管理組合港務艇「ぼーとおぶなごや2」にて名古屋港湾施設、ポートアイランド及び鍋田ふ頭、弥富ふ頭を海上から視察し、その後弥富市港湾地区に建設された大型物流センター、富浜緑地、鍋田ふ頭の背後地として開発を目指す八穂地区の現況を視察しました。

今回の視察目的は第2次弥富市総合計画、都市計画マスタープランに掲げた八穂地区の開発に向け、名古屋港そして鍋田ふ頭との関連を議会として確実なものとして理解するための視察でした。

今回の視察を通じ本市の財源確保向上に向け、都市計画マスタープランに示されたこの地域の開発を、市議会としてもスピード感をもって進めなければと認識を新たにしました。



知立市議会では、共通の機器を貸与し、議員が互いに教授し合って対応し、タブレットを使用しない議員はいない。また、紙資料は

4月20日に知立市役所で、先進的な知立市議会のICT化への取組とタブレット導入までの経緯及びスケジュール、執行部との調整、機器の選定に関すること、導入費用、使用してのメリット・デメリットなどを伺った。

愛知県知立市

議会改革
協議会



用意しておらず、必要であれば各自で印刷している。市当局のタブレット導入は、令和2年度に議会の導入に合わせて用意した。紙の使用量の大幅な削減は元より、議会開催前の資料作りに職員が要す時間の削減が最も費用対効果として大きい。議会ICT化に必要なことは、議会は議長、市側は市長が先頭に立って取り組まれているという点である。前回視察した長久手市も同様であったことから、早期のICT導入には何が必要なのか実感できた視察だった。



傍聴のご案内とお願い

市議会は、令和5年6月定例会より、本会議（議場）、全員協議会及び各常任委員会（協議会室）の傍聴を再開しました。また、下記のとおり運営しておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。
なお、全ての会議は、本庁舎1階、6階のモニターでもご覧いただけます。

本会議・全員協議会・常任委員会

○受付時間・場所

開始30分前より、本会議は本庁舎6階エレベーター前、本会議以外は5階事務局の傍聴受付にて、先着順で受付をいたします。

○現在の傍聴席数

本会議場は椅子席50席、車いす席2席、協議会室は10席

○入退室

本会議は途中でも可能。本会議以外は開会後の入場及び途中退場後の再入場はできません。

傍聴される方へ

☆議場内及び協議会室内は静粛に願います。

①議場内等での発言は、認められておりません。


②携帯電話等は、電源を切るか、マナーモードにすること。

☆議場傍聴席から議員席をのぞき込む行為は危険です。

☆議場傍聴席の手すりにもものを置かないください。

☆消毒液による手指消毒にご協力ください。

☆マスクの着用は、各自でご判断ください。

市議会の模様は、後日  YouTube でもご覧いただけます。

9月定例会の開催日程(予定)

期日	日程	ケーブルテレビ中継 放映予定	インターネット 配信予定
8月24日(木)	本会議(議案説明など)	—	○
9月11日(月)	本会議(一般質問)	○	○
12日(火)	本会議(一般質問)	○	○
13日(水)	本会議(議案質疑)	—	○
15日(金)	総務建設委員会	—	○
19日(火)	厚生文教委員会	—	○
20日(水)	予算決算委員会	—	○
21日(木)	委員会予備日	—	○
26日(火)	本会議(委員長報告・討論・採決)	—	○

◆ケーブルテレビ中継

午前10時～会議終了まで(録画放映は当日午後7時～放映予定)

◆インターネット配信

開催後、おおよそ10日後より配信予定

※日程は、変更になる場合もありますのでご了承ください。

表紙の説明



ガントリークレーン(gantrycrane)は、港湾の岸壁に設置され、ISOコンテナ用貨物船に対し、海上コンテナの積み卸しを行う港湾施設として重要であり、特定重要港湾、重要港湾のコンテナ船埠頭のほとんどに設置されています。

弥富市にある埠頭の中でも鍋田ふ頭は、中国、韓国、東南アジアからのコンテナ貨物が中心で、取扱量は日本一です。鍋田ふ頭では、今後も取扱量が増えていくことが期待されており、現在第4、第5バースの増設を国に要望しております。